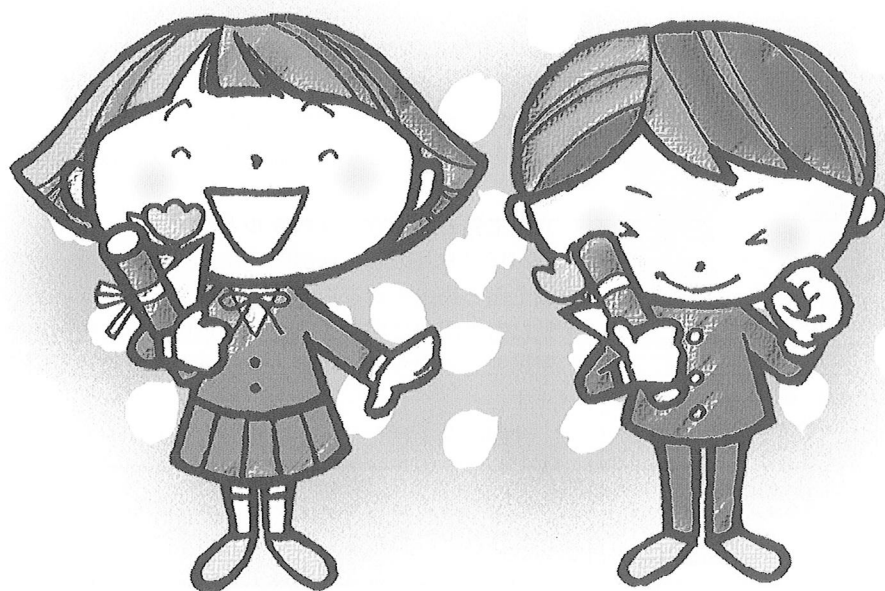


# 道 教 組

DOKYOSO NEWS vol.530



## 日本国憲法シリーズ① 「立憲主義を考えてみませんか」

全国津々浦々で憲法署名を……全教定期大会開催

インタビュー「子どもにとって素敵な学校とは……？」(加藤弘通北大准教授に聞く)

あなたの安心と共に歩む道教組共済会

道退教で一緒に

“ぼっち”じゃない……ひとり分会から……その⑥

わたしのとっておき

# 立憲主義をを考えてみませんか

## 身近な「立憲主義」



「職員室で憲法？話題じゃないなあ」

道教組に集う各単組・連絡会で、様々な「憲法を知る取り組み」「憲法を守ることについてのアクション」などが行われています。

一方で、職場では「憲法は日常的话题じゃないなあ」という言葉をよく聞きます。日常の仕事の話や趣味の話と同レベルで、「ちょっと憲法がさあ〜」と話題になりにくいということです。

そんな中で、「何ができるかなあ」と考え、4コママンガで表してみることにしました。

教職員組合が掲げている「憲法と平和を守る取り組み」の中で、自分に何ができるだろうということを考えたからです。新聞を読んだりニュースを見ている中で、「あ、これが『教育の専門家』としての私たちと憲法が密接に関わることなんだ」と思ったことを、発信していこうと思います。

## 立憲主義とか保守・リベラルとか？

2015年9月の安全保障関連法可決の際には「立憲主義・平和主義と民主主義を取り戻す」言葉がメディアにもあふれ、私たちの印象に残りました。昨年10月の衆院選の頃には、立憲民主党の立ち上げによって改めて注目された用語でもあります。

今回取り上げた「立憲主義」は、一人ひとりが個人として、人として尊重される「個人の尊重」を守るために、国家権力を憲法で縛るシステムです。それはまるで空気のようなものがあるけれど、私たちに身近なもの。

国会を見ていると、立憲主義に基づいて私たちが権力を監視しているのか、私たち国民が政府に見張られているのかわからなくなることがあります。SNSでは「税金を国民から『吸い上げている』」という国会答弁での発言が取り上げられて、立憲主義の大切さを痛感させられます。主権者として私たちは、政治に目を向け耳を傾けていきたいものです。

## 私たちも立憲主義で縛られる「公務員」

そう、私たちも立憲主義で縛られる「公務員」です。そこも忘れてはいけません。立憲主義は、私たち教職員の身近なところにあるものです。我が国の現在と照らし合わせながら、職員室で一緒に考えていく工夫を凝らしませんか。

(内藤修司<副委員長>)

# 全国津々浦々で憲法署名を ～全教第35回定期大会開催～

2月17日～18日、東京都内において全日本教職員組合第35回定期大会が開催されました。全国各地から代議員が参加し、総括・来年度方針・予算等について積極的な討論を経て決定されました。

道教組からは、古川副委員長（釧路）、新保書記長、國保養教部長（日高）の3名が参加し、討論にも参加してきましたので、概略を報告します。

## 討論で語られた3000万署名のとりくみ

- ・全分会での憲法カフェを提起し、3分の1で実施。共済と憲法からめてやっています。封筒に署名を入れ、持ち帰ってご家族もしてくださいと訴え、30人の職場で65筆集める。（富山高）
- ・3000万署名は、職場の過半数が目標で、1人5筆以上にとりくんでいます。街頭宣伝も行い宣伝重視でティッシュも活用。（兵庫）
- ・駅前で憲法のシール投票にとりくみ、市民アクションも立ち上がりました。「くらしと憲法を考えるカフェ」をとりました。（全滋賀）

## 全教第35回定期大会

全日本教職員組合第35回定期大会が2月17日～18日、東京都内において開催されました。全国各地から代議員が参加し、総括・来年度方針・予算等について積極的な討論を経て決定されました。



## 5月25日の署名しめきりめざし、多様なとりくみで憲法3000万署名を成功させよう

- [全教方針]（現在2万7,806筆）目標50万筆
- ・安倍政権の憲法9条改悪を3000万署名の推進を軸にとりくみましょう。
  - ・全教職員対話を視野に、職場・地域で署名にとりくみましょう。1人5筆以上。
  - ・学習会、宣伝行動、憲法カフェなど旺盛にとりくみましょう。

## 「教職員の長時間労働改善を」

### ～新保書記長が全教大会で発言～

昨年から今年にかけて、文科省、中教審、スポーツ庁、道教委から、次々と教職員の勤務実態、働き方改善、部活動のガイドライン等が発表され、テレビや新聞で大きく扱われてきました。そして、多くの国民も教員の長時間過密労働・部活動の問題点を理解するようになりました。

道教委は2月14日「北海道アクションプラン」を発表し、今後3年間で教員の時間外勤務の縮減について方向を示しました。しかし、3年間で「1週当たりの勤務時間が60時間を超える教員をゼロにする」という数値目標は、60時間を超えなければいいという目標で、時間外容認の欠陥方針です。

道教組・道高教組は、全道約2,200名から「全道教職員働き方改善アンケート」の結果を発表しました。アンケートでは、「大切にしたい業務」

の1位は、「授業・授業準備」で、現状は勤務時間外に授業準備の時間を補い、毎日なんとかしのいでいるということになります。教員の働き方改善は、授業改善につながる意味でも重要課題なのです。

北海道では、今までに9項目の割振り変更を制度化させてきましたが、今回の交渉で「PTAの業務（保護者への説明）、入学者選抜の業務」の2項目を追加させる前進回答を勝ち取りました。

全教「提言」の授業時間の上限を小学校20時間、中学校18時間、高校15時間とする提言は、道理にかなった要求です。

北海道でも自分自身の働き方を見直す話し合いが始まっています。まずは組合の中でしっかりと話し合い、年度末反省で、仕事の削減・精選・見直しを提起する、部活休養日を設定する、定時退勤日を年間計画に入れる、ここから始めたいという提案です。困難ですが、打開のため踏み出しましょう。

# 子どもにとって素敵な学校とは

～「小・中学生アンケート」調査に携わっている加藤弘通さん(北海道大学准教授)に聞きました～

## Q 子どもにとって素敵な学校とは？

子どもが「明日も学校に行きたい」と思える学校ですかね。子どもが「また明日学校に行きたい」と言えるって、結構すごいことだと思うんですよ。

子どものことをトータルにつかまえている機関は日本には学校しかないと思います。学校は素敵であってほしいと同時に果たすべき役割がすごく大きいです。子どもの貧困が注目されていますが、困難を持っている子どもが嫌な思いをせずに登校できる学校が素敵な学校でもあると思います。

## Q 小学校低学年の子どもにとっての学校とは

小1・2年生段階では、担任の先生の力がとても大きいですよ。子どもは担任の先生がどうやったか受け入れてくれていると感じられるのか。ここがとても大事だと思います。それが「今日、楽しかった。明日も学校に行きたい」という言葉になるんだと思います。友だちと何かあっても、先生に言えば何とかなる……信頼ということですね。

子どもにとっては、すべての問題を解決してくれるからよい先生ということではないと思います。先生に相談すると全部は解決できるとは限らないけど、一生懸命聞いてくれるとか最後まで見捨てられないと思えることではないでしょうか。

## Q 小学校中学年の子どもにとって学校とは

発達のいうと9歳から思春期にはいり始めます。この時期は、子どもが言ってることの方が正しくなっちゃう時期です。論理的に考えられるようになるからです。子どもはまともなことをいつているのに、大人は「まだ自分で稼ぐことも出来ないのにナンダその口の利き方は」と話をずらしてしまったりして、全然論理的でないわけですよ。そんな理不尽なことも論理で突破していく。

どこかで悔しい気持ちを抱えながら、今日は言い負かされたけど絶対あっちが間違っているという感覚を持ちながら育っていくのです。また3年生は変身する時期でもあります。低学年の時に少し遅れ気味の子が、ぐっと伸びる。逆に低学年の時にリーダーだった子がフォロアーになるなど。

4年生になるとそれなりに固まってきて、それがなかなか覆らない状態になりがちです。学力差が開いたり、リカバリーが難しくなってきます。分数など、考え方を考えるというように、学習も難しくなります。こういうところを取りこぼしていくとなかなか一気にリカバリーすることが難しい。先生も疑問を持ったことを丁寧に拾えるとよいのですが、学ぶ量も多くなり忙しくなります。本当は間違いは、問題を発見するチャンス、間違いからいろいろ学べるチャンスですが、その時間が取れないのは本当にもったいないと思います。原理から考えていくというのにはいい時期である一方で、つまづきやすい時期でもあります。

## Q 「5年生は難しい」の声もありますが

5年生は研究していても謎が多く興味深い学年です。そもそも5年生に関する研究って少なく、調査すると、変な結果が出たりします。例えば、学校の楽しさといったことが、学業や先生との関係、友だちとの関係が関連しなくなるという結果が得られたりします。まるで、いろんなことの間が崩れてしまうようです。

具体的に考えてみると、5年生ぐらいになると、先生や大人に認められることが自分の自信になる時期から、そうでない時期に入っていきます。要するに今までのルールから新しいルールに編み変えるような時期に入る。そこにまた違う強いルールを維持しようという先生が入っていくと、先生からの要求をこなしても肯定感につながらず、逆に（従ってしまった）ダメな自分と考えてしまうことになったり、押しつけられた！と感じたり

するのではないのでしょうか。

最もいいのは、時間がかかるんですが、民主的に決める、多数決ということではなく、少数派の意見もどう拾っていくかなど、子どもたちもいろいろ考えることができる時期であり、その意味で自治が生まれやすい時期といえるかもしれません。この時期に、先生の力で強く押し切ってしまうとあまり良くないのではないかと思います。

## Q 中学生… “悩む、ってかっこわるい？

中学生は、友だちと毎日ぺちゃくちゃしゃべっているのに、自分が悩んでいることや自信がないことは全然しゃべっていないようですね。

悩むってことは、物事のスタートです。でも、悩むことってかっこわるいと思っちゃってる。悩むことをすごく個人の問題としてとらえちゃってるんですね。みんな悩んでいるんですから、すごく公の問題なのです。もっと開いて、シェアして、自分だけでなかったというのがとても大事なことはないのでしょうか。

それなのに教育現場に心理学が入って、個人的

に悩んでいる子どもに「もっと自分は何をやりたいのかを考えてみよう」とさらに個人の内側に入り込んでいくようなやり方が推奨されたりします。でも、十何年しか生きていないんですから、自分の中になど答えはあまりないのが普通です。

できれば、「あんな偉そうに言っている隣の先生は、私たちの年齢の時に何を悩んでいたのか聞いてみよう」とか、「偉人は、10代の時、何を考えていたのか・何をしていたのかを調べてみよう」と、中学生の内側に向かっている悩みの思考を外に出すことが大事です。

教育は、子ども1人ひとりが内に包まれているものを外に開いていける営みになることが大切だと考えています。

## 紹介／加藤弘通さん



現職：北海道大学教育学研究院・  
発達心理学研究室(准教授)

研究：「思春期の自尊心低下の要因とそれを抑止する授業づくりの検討」「問題行動及び学級の荒れを抑止する教師の関わりについての研究」

## 本音を引き出す集いになれば……

### 北海道道德教育フォーラムに参加して

私は、民間教育研究団体の学習会に参加すると、真の教育の面白さを見いだせると感じています。今回、興味深い道德の授業実践を校内研で行った同僚ふたり(北教組)に、発表をすすめました。

でも、「旅費も自費で、たいしたことないと思われる実践を、部活指導を休んでまでしたいとは思えない」と一度断られました。

そこで、①校長に出張命令を出して頂けるようお願いし旅費を確保、②参加費を振興会研修費から捻出してもらえぬ確約を取り、③「つながりづくり」を申請し、札幌での飲み会付き反省会を用意でき、参加の承諾を得ました。

早々と三人で帳合いしながら当日の打ち合わせをしました。かくして実践発表をむかえ、参加者の皆さんからの評価を頂き「発表の機会をありが

とう」と感想を頂きました。

参加後の反省会では、普段から理論研を楽しめる仲間なので、

第三者だからこそ見えるこの会の改善すべき点を手厳しく指摘されたり、「真の道德ってなんだ？」という話にまで及び、熱い討論になり、大変濃い反省会となりました。

フォーラムが、こうした本音が、初めて参加した人からも引き出せる集いであると、次回もまた来たいと思ってくれるのではないかと感じた次第です。同僚と共に参加することで見えた、貴重な機会となりました。

【平川美和(空知教組)】



## 道教組共済会から

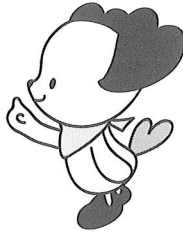
### 青年教職員とつながる

特に新採用者と青年層に重点を置き、早めに組合と共済のことを伝えるキャンペーンを行いました。毎年、北海道には新採用者が800名前後入ってきます。今年度新採用者に対して、共済案内資料と「マモルン付箋」をプレゼントしました。

その結果「つながりづくりのための4,000円」を多く単組が有効活用しました。たくさんの青年教職員に働きかけることができました。特に4月と5月だけで60%も実施。歓迎会や集会後の交流会で、いろいろアドバイス等も交えて貴重な時間が過ごせたのではないかと思います。

### 「職場賞」が2つ

「職場賞」を設けました。これは、分会で3人以上「総合共済」に加入すれば、職場にお菓子をプレゼントするものです。今回、上川教組と宗谷



教組の2分会が「職場賞」となりました。

ちょっとした語らいの場の中で、実践や子どもたちのこと、そして、自分の生活のことなどを共にすることで、ほっとした時間が生まれたのではないかと思います。

### 全教自動車保険を広げる

全教自動車保険の優位性について情宣活動を重視してとりくみました。

今年度、新たに作成した『5分でわかる全教自動車保険』のパンフレットを有効活用しました。

札幌では全小中学校の約半数の147校、教職員約4,000名に配布しました。その際、教職員向けの「安全講話」研修会の案内も学校長にお願いしました。「安全講話」の研修を実施した学校はありませんでしたが、自動車保険への加入につながりました。

今年度も、忙しい中「集いあい」や「共済学習会」、「対話キャンペーン」などでご協力いただき、心より感謝申し上げます。

## 道退教で一緒に

## 退職される皆様へ 再任用で働く皆様へ

### ひとりぼっちをなくそう



親睦旅行、スポーツ、各種サークル等の楽しみ活動を通じて、会員相互の交流を強めています。

特にひとり暮らしの会員

の高齢化、家族介護、病気療養などにも気を配り、実情を把握し可能な支援に取り組んでいます。支部ニュースを発行し、配布や会費集め等の機会を通じて、会員同士の繋がりを強めようとしています。

### 教え子を再び戦場に送るな！

道退教会員約600名が賛同し、全国10,115名の名前入りポスター「世界につながれ日本国憲法」に名を連ねました。また、道高退教などと「教え

子を戦場に送るな！北海道の会」を立ち上げ、北海道独自の名前入りポスターを作成し、街頭宣伝などを行っています。

各支部でも、各地域での平和・憲法・教育を守る運動を呼びかけ、様々な団体・個人と連携して、活発に活動しています。



### ゆきとどいた教育を求め、教育を守る

「ゆきとどいた教育を求める全国署名」では、各支部が奮闘し、毎年約5,000筆の署名を集め、現職教職員や保護者・住民との懇談会等を開催して地域での協同を作り出す牽引車の役割を發揮しています。



## “ぼっち”じゃない！……ひとり分会から…… その⑥

東川町立東川小学校分会

中村美楠子（教諭）

### 赴任の2年間は、ぼっちっ

本校に勤務して3年が終わろうとしています。5年ぶりの通常学級担任、10年ぶりの高学年、職員の数も前任校の約3倍で、力のある先生方ばかり。もともと人と馴染むのに時間がかかる性格なのに、さらに不安と気おくれから、なかなか同僚の輪に自分から踏み込むことができない日々が続いていました。さらに学級の子も達との悪戦苦闘の日に追われ、必死の2年間。なんとか無事卒業生を送り出すことができました。



### ぼっちっちでも動き出せば…

他組合の分会会議の最中に職員室に残る先生方との雑談。期限付きの先生に期限付きでも特別金額で組合に入れることをお勧めしてみました（軽く流されたけど）。飲み会の席では、教頭に元同僚で上川教組の組合員（西野先生のこと）との思い出や、「そっちの組合はいろんな学習を一生懸命しているイメージがあるよ～」と評価を話してもらいました。また、道徳の教科書に関わっての運動について他組合の支会長に質問すると、わざわざ他校の書記長に電話して教えてくれ、その流れでお互いの道徳の情報を交流することができ

ました。

### ぼっちっちもいつの間にか…

「ちょっとお得な情報あるんだけど…5分ほど時間ある？」の一言を皮切りに、全教共済の総合共済の話如若者3人にできました。「へえ、いいですねえ。」という反応でした。なんと、その日に3人も加入し、道教組共済会から職場賞受賞。

その際にいただいたお菓子を口実に、後日「お茶会しよう！」と3名の先生と同じ学年ブロックの先生数名をお誘いし、お茶会をすることができました。パチパチ！ねらっていた共済のミニ学習会達成！ほっとひと息ついて最近の子も達や行事の事もざっくばらんに話す楽しい時間にする事ができました。

こう書きだしてみると、馴染めていないなあ、組合PRできてないなあと自己嫌悪の日々はいつのまにか終わっていたのかな？

ただずっとやるつもりだったのに、やれていないことが一つ。それは、他組合の分会会議に行ってお上川教組とその組合員としての自分の紹介をすること。新年度の体制が整うころに分会会議におじゃましようと目論んでいました。時間はかかりすぎたけど…ま

いっかあ。  
(^\_^)v



3年かかったけれど

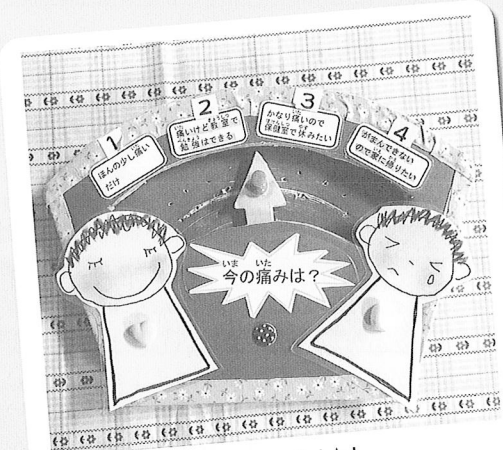
### 編集後記

昨年4月から、道教組ニュースの編集に復帰しましたが、もうすぐ卒業します。▼夢は、大変な忙しさの中にある皆さんにチラッと目にしてもらえたり、偶然であっても手にとってもらえて「〇〇さんが載ってる」「ここに相談してみるかな」「へえー、組合ってこんな事やってんだ」とシェアしてもらえたりするものでした▼道教組からの一方

通行ではなく、日々子どもたちと共に過ごしている教職員の方々の息吹を少しでも共有できるものにと、多くの皆さんに原稿を寄せていただきました▼子どもたちの前に立つ皆さんの姿を思い浮かべ、編集に向き合うのですが、なかなか……難しい。お許しを請うばかりです▼今後とも、子どもと学校の「いま」を大切にしていきましょう（柳）

# わたしのとっておき

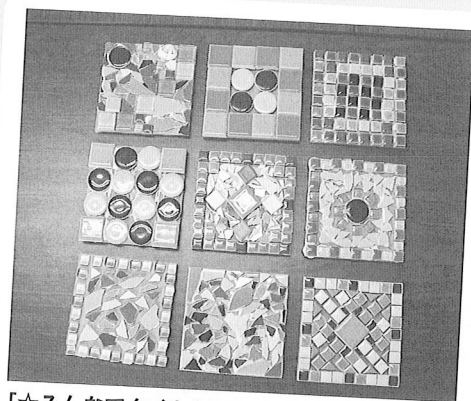
“とっておき”の写真・絵・短歌・川柳など紙面で紹介できる作品募集。頁下メールアドレスへご連絡を。



## 【★大人気の「痛みスケール」★】

夏休みに養護教員会の仲間と一緒に作りました。どの程度の痛みなのかを子どもたち自身が矢印を動かして今の痛みを伝える保健室グッズです。かわいいで何度でもいじる子が多いです！

【小林 恵子(函館市立神山小学校)】



## 【☆みんなでタイルクラフト☆】

全渡島教職員組合の女性部会でタイルクラフトを行いました。

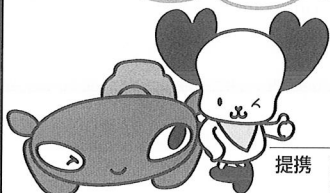
それぞれの先生方のカラーが出た、すてきな作品になりました。壁掛け・鍋敷き・コースターなどになります。

【山本 秋恵(七飯町立大沼中学校)】

# 全教自動車保険

## 「見積依頼」でハーゲンダッツをプレゼント！

同乗者と自分の命を守る為、一般道でも全ての座席でのシートベルト着用を！全座席のシートベルト着用を確認して、さあ出発。万が一の際は、全教自動車保険が頼りになります。是非、ご加入を。



提携 東京海上日動火災保険株式会社

### 全教自動車保険加入にあたっての5つの特長

- ①無事故割引を他の保険会社や一部の共済から引き継げます
- ②保険料は給料引去または口座振替
- ③ご家族の車でも、何台でも加入OK
- ④退職者もメリット引き継ぎで安心
- ⑤申し込んだその日から安心

手続き

カンタン

有限会社 川上企画 (道教組指定代理店)

札幌市中央区南大通西12丁目4-78 ウエスト12 1階  
フリーダイヤル 0120-215-789 FAX 011-218-2472

## 道教組

2018年3月1日発行

発行 全北海道教職員組合 発行者 川村安浩 〒060-0909札幌市東区北9条東1丁目 北海道労働センター 3階

TEL(011)742-0101 FAX(011)742-1001 メールアドレス dokyoso@seagreen.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.dokyoso.net>